三河の花火が教えてくれたもの

小坂井西小・５　広木　愛里

三河の花火が教えてくれたもの
花火大会当日の一発目
夕やけの中から
「ヒュー」
と音が聞こえた
友達と話していた人も
ねっころがっていた私も
お年よりから赤ちゃんも
全員が花火を見た
全員が口を開け
全員が目を開け
「もう、花火が上がる」
と全員が期待をした

三河の花火が教えてくれたもの
夕やけの中から
「パンッ」
と音が聞こえた
全員が花火を見た
すると
とても美しく
とてもきれいな花火だった

三河の花火が教えてくれたもの
どんどん日の入りが近づくころ
多くの花火が上がった
「ヒュー」
「パンッ」
「パンッパンッパンッ」
と大きな音が続いた
「パシャッパシャッ」
とカメラの音も聞こえた

三河の花火が教えてくれたもの
もうとっくに日の入りが終わったころ
さっきの倍の数の花火が上がった
わたしはあきて屋台をまわった
その中で見たかき氷に目をうばわれ
かき氷を一つたのんだ
おかげでちょっと元気がでた

三河の花火が教えてくれたもの
もうまっくらになり何も見えないころ
最後のフィナーレが始まった
わたしは半分ねむたく、早く帰りたがってい
た
とてつもなくすごい音が鳴りひびいた
その音で私はびっくりした
やっぱり最後はとてもきれいで
最後はみんなではく手した
久しぶりに改めて見たからか
とてもきれいで　美しく
最初では感じとれなかった
「はかなさ」を感じた

三河の花火が教えてくれたもの
わたしは三河の花火で
「美しさ」と
「はかなさ」を
教えてもらった